

令和3年度 学校関係者評価（9月）

中津市立沖代小学校

1 学校の教育目標

自ら学び合い 仲間と共に やり抜く児童の育成

2 育成をめざす資質・能力

- ・自己の課題に気づき、解決のための活動を選び挑戦する力（問題解決力）
- ・他者と対話的に関わりながら、自己や他者を尊重する力（人間関係形成力）

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評定判断基準

A …達成率90～100% B …達成率70～89% C …達成率60～69% D …達成率60%未満

目指す資質・能力	重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期（次年度）に向けての取組
空きて働く知識・技能の	わかるでできるを実感する	○「学校の勉強はわかる」と答える児童児童90%	学 校	○属の学力保障（年間を通した学力づくり）と授業参加ができる授業改善	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校の勉強が分かる」と答えた児童が90%を超えているのは素晴らしい。 ・各学年が1学期の成果と課題を的確に把握し、今後の取組に生かそうとしている点は良いと思う。とてもわかりやすい。 ・学力分析、理解がよくされており、今後も先生方の学習への後押しで児童の学力向上につながっていくと思う。 ・学習の手引きを保護者と共有しているのは良い取組である。高学年になるにつれて自主学習の割合が増えるのは良い流れだと思う。 ・家庭学習の取組は、家庭学習の習慣化は、親にとっても課題であり、理想である。根付いてほしい。 ・家庭学習の取組に大きく二極化している点は、少し気になる。 ・その子にとって自主学習の時間が、効果的な内容や時間であるかどうか、時々、担任がチェックすることが必要。 ・コロナ禍で学習サポーターの活動も苦勞されて大変だと思う。
		○国語算数の単元テストで達成率80%以上。		つけたい力を明確にした家庭学習の推進		
		○各種学力調査達成率 70%以上	家庭的に自分の学習・読書を計画できる力の育成	A		
		○自ら進んで家庭学習に取り組む児童の割合 80%以上	主体的に他者と関わりあう態度を育てる	A		
思考力・判断力・表現力等の	他者との対話的に自己の関わりを尊重する	○他者の意見を取り入れ思考を深める児童の割合80%以上	学 校	学年に応じた学び合いの姿の共通理解と自ら学び合う学習の推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「活用力に課題がある」という分析と教職員57%の自己評価は、2学期以降改善してほしい。今後に期待します。 ・友達との学び合いのある授業を今後も大切にしてほしい。マスク越しで本当に大変だと思う。 ・「あいさつ」に保護者や地域の協力があり、素晴らしい。 ・朝、校門であいさつをしているお子さんを目にする機会がありました。 ・駐車場ですれ違うお子さんに「おはよう」と声をかけると「おはようございます」と返してくれます。あいさつ一つにも、小学生にとっては、勇気が必要なこともあると思う。是非、頑張してほしい。
		○児童アンケートで「挨拶ができた」と答える割合が90%以上		気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てる		
		○児童アンケートで「主体的に自分の学習・読書を計画できる力の育成」を育てる	主体的に他者と関わりあう態度を育てる	A		
		○児童アンケートで「進んで読書をしている」と答える児童70%以上	挨拶プラスワンの取り組みを進める	A		
と する 学 び に 向 か う 力 ・ 人 間 性	き、自己も集団の課題に気づき、仲間と共にやり抜く力	○自分の生活や生き方を考えることができた児童80%	学 校	安心してすごせる学級づくり（人権学習と日常のつながりを意識した取り組みの推進）	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担任から児童へ日々目標を示すことは、大切なことだと思う。その中で、児童の良い態度や行いを担任が上手に褒めてほしいと思う。 ・「運動する」は、コロナ禍で難しい事のように思っていたが、「運動することが楽しい」と回答した児童89%には、驚いた。 ・熱中症に気をつけながら、可能な限り外遊びをさせてほしい。 ・体育授業での準備運動と補強運動には、意識的に取り組んでほしい。
		○学校や学年や学級の課題に気づき、自分たちで取り組みを決め、解決できると答える児童 80%		課題に気づき、自主的自発的に課題を解決していく取り組みの推進		
		○児童アンケートで「運動が楽しい」と答える割合が85%以上	生活の中で主体的に運動に取り組む場の設定	A		
		○児童アンケートで「主体的に自分の学習・読書を計画できる力の育成」を育てる	生活の中で自分の課題に気づき改善しようとする力の育成	A		
革 働 き 方 改 進	め 信 力 あ 頼 の つ し 向 ち あ 上 い ム 高	○「沖代小学校は、困ったとき学年・分掌部等チームで助け合える職場である」と答える教職員の割合が80%以上	学 校	・チームで育てる学年・分掌運営 ・会議の前に短時間で学年会を持つなどより全体の意見を集約できる効率化された分掌会議の実施	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「チームで助け合える職場」97%の教職員の評価は、素晴らしい。
		○児童アンケートで「主体的に自分の学習・読書を計画できる力の育成」を育てる		・生活リズムやインターネット使用についてルールをつくり定期的に子どもと話し合う。 ・単元や教材に応じたゲストティーチャーとして活動を行う		
		○児童アンケートで「主体的に自分の学習・読書を計画できる力の育成」を育てる	・学校の働き方改革について理解し、ゲストティーチャーやサポーターとして学校支援を行う。	A		
		○児童アンケートで「主体的に自分の学習・読書を計画できる力の育成」を育てる	・学校の働き方改革における学校業務の共通理解とサポート	A		